| 講義名 | 19～業界研究（商社・卸）/15～企業論特別講義（商社・卸） | | | | | 授業形態 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 上田　義朗 | 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 ３時限 | | | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | ２年生 | ナンバリング | |

## 主題と概要

商社や卸売業と言えば、企業と企業（＝BtoB）のビジネスになります。したがって一般の消費者からは見えにくい世界です。しかし経済活動において間違いなく不可欠な役割を果たしています。本講義では、その実態を具体的に学ぶことを主題にしています。

また、これらの企業には優良企業が多数存在しています。そういった分野にも視界を拡大し、今後の職業選択に役立つことが意図されています。そのために本学の卒業生にも複数登壇して頂きます。

さらにグローバル経済において世界の流通・物流が重要な役割を果たしており、その主役は商社・卸売企業です。製造企業が商社・卸売り機能を統合する動向がありますが、すべての機能を製造業がカバーできない。また昨今のコロナ禍においては原材料や部品の「サプライチェーン」が断絶し、大きな悪影響を経済やビジネスに及ぼしています。こういう場合の商社・卸売り業の新たな経済的な役割も注目したいと思います。

## 到達目標

１．商社や卸売り企業について、その実態や魅力を具体的に知ることができます。

２．そのことを通して、社会人としての自己の進むべき進路が想起できます。

３．日本経済の今後の展望を自分なりに語ることができます。

## 提出課題

毎回の講義についてレポートを書いてもらいます。

## 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートは各招聘講師に読んで頂きます。また、担当教員（上田）がレポートの書き方や注意について指摘します。

## 評価の基準

提出課題であるレポートによって成績を評価します。

講義中に質問した学生には加点します。

## 履修にあたっての注意・助言他

社会人、さらに企業や団体の経営幹部をお招きしての講義です。

通常の講義でも当然ですが、．私語や居眠りは厳禁です。これについては厳しく対処します。

他方、講義中の質問は加点します。

## 教科書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| .使用しない. | | | | |
| | | | | |

## 参考図書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| .なし. | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

## その他

資料は、各講義で配布されます。

## 授業計画

1.　商社と卸売り企業の機能と役割・・・上田義朗
2.　外部講師
3.　前回講義の復習と次回講義の予習・・・上田義朗
4.　外部招聘講師
5.　外部招聘講師
6.　外部招聘講師
7.　外部招聘講師
8.　外部招聘講師
9.　外部招聘講師
10.　外部招聘講師
11.　外部招聘講師
12.　外部招聘講師
13.　これまでの講義の要点と留意事項
14.　外部招聘講師
15.　まとめ講義・・・上田義朗

３月７日時点で、すべての講師名は正式には決まっていませんが、すべてが決定次第、講義計画を配布します。

## 授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ア：PBL（課題解決型学習） | | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| | ウ：ディスカッション、ディベート | | エ：グループワーク |
| | オ：プレゼンテーション | | カ：実習、フィールドワーク |
| | キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | | |

## 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

復習・・・各講義ごとにレポートを必ず提出してもらいます・・・１８０分～

予習・・・次回講義における質問を考えるなどの課題を講義情報（流科ポータル）で連絡します・・・６０分～。

## 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卒業認定・学位授与の方針において商学部では、「供給者と生活者の複眼的視点に立ち、マネジメントの諸問題を解決できる人材を育成します」と述べられている。この方針の「供給者と生活者の複眼的視点」が求められる具体的な経済活動が、本講義の対象となっている「商社・卸売り」業界である。

また、社会に貢献する人材の育成、特に「実学」を「建学の理念」とする本学にとって、本講義は企業経営の最前線からの知見の提供であり、重要な位置を占める講義である。

## 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義では積極的な質問を学生に奨励し、講師にも質疑応答の時間設定を事前に依頼する。
また外部講師の事情や新型コロナ感染状況によっては、オンライン（ライブまたはオンデマンド）講義の可能性もある。

## 実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
国内外のビジネスマッチング・コンサルティングの経験から、講義における招聘講師との実務的な対話や質疑応答を通して、より具体的なビジネス情報を受講生に提供できることが期待される。

## 備考

外部招聘講師のテーマと担当日程が決まり次第、公開します。